

早明浦ダム再編事業について

1 早明浦ダム

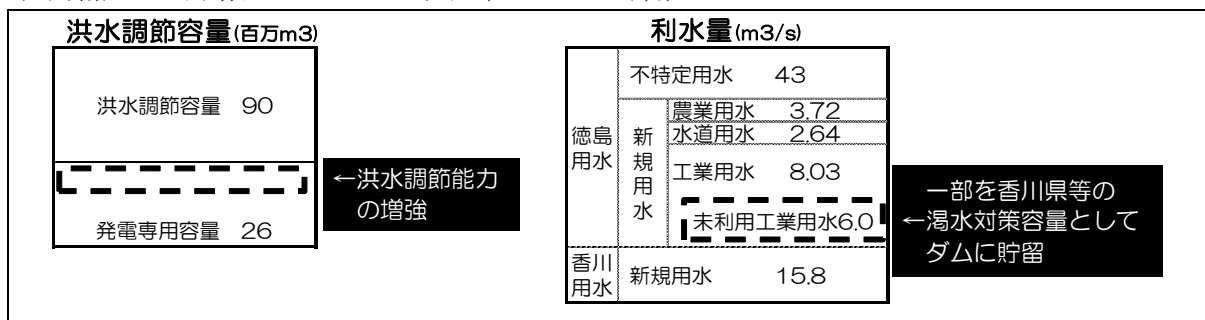
- ・完 成：昭和50年3月
- ・管理者：独立行政法人 水資源機構
- ・目 的：計画高水流量4,700m³/sのうち2,700m³/sの洪水調節及び農業用水や工業用水などの安定供給
- ・主な用水の内訳：
 - ①徳島用水 不特定用水、新規用水（農業用水、水道用水、工業用水）
最大57.4m³/s
 - ②香川用水 新規用水（農業用水、水道用水、工業用水）、最大15.8m³/s

2 早明浦ダム再編事業の背景

- ・治水及び利水の安全度の低下
 - ①4度にわたっての計画規模を上回る洪水の発生
 - ②平成16年台風23号をはじめとする大規模な浸水被害の発生
 - ③平成6年以降3度にわたってダムの利水容量がなくなる「ダムパンク」や取水制限回数の増加

3 早明浦ダム再編事業の方向性

- ・治水能力の向上：放流設備及び洪水調節能力の増強
- ・利水能力の向上：異常渇水に備えるための本県所有の未利用工業用水(6m³/s)の一部を「渇水対策容量」としてダムに貯留
- ・早明浦ダム再編のイメージ図（かんがい期）



4 早明浦ダム再編事業に係る検討の場

- ・国及び四国四県で構成し、早明浦ダム再編事業の今後の方向性に関する認識共有や再編事業の事業化に向けた調整を行う場
- ・平成27年9月7日に実務担当者が参加する幹事会が開催
- ・今後、継続的に開催予定